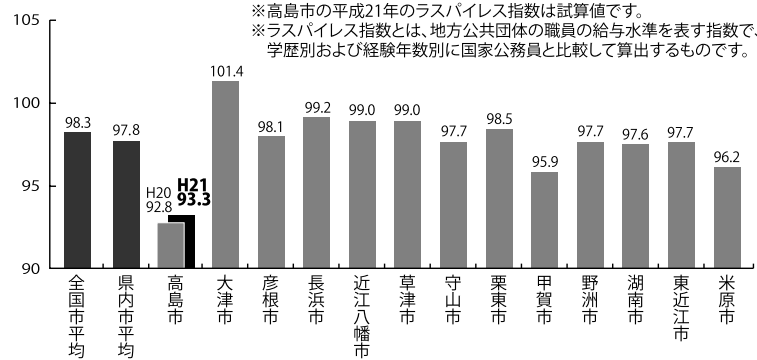


滋賀県内の市とラスパイレース指数の比較 (平成20年4月1日現在)



平成21年4月1日現在で見ると、高島市一般行政職の給与額は水準を100とした場合、93・3となっています。

給与の状況  
県内の市では最低水準 (ラスパイレース指数の状況)

とりが市民の皆さんの気持ちやニーズを十分に把握し、適切かつ迅速に対応できる集団となるよう努めます。

平成21年度 9月補正予算の概要

高島市議会9月議会において補正予算が可決されました。  
今回の補正予算は、今年度の事業を進めるにあたり、新たに必要となった経費を追加計上しています。  
9月補正予算の概要と主な内容は次のとおりです。

【歳入歳出補正予算】

区分	補正前の額	今回補正額	補正後の額
一般会計	249億6,380万円	2億8,420万円	252億4,800万円
特別会計	130億4,616万円	9,680万円	131億4,296万円
事業会計	62億5,022万円		62億5,022万円
予算総額	442億6,018万円	3億8,100万円	446億4,118万円

【一般会計歳入予算の主な内訳】

地方交付税	7,500万円
国庫支出金	8,301万円
県支出金	3,535万円
繰越金	2,775万円
市債	5,550万円

移動通信用鉄塔  
施設整備事業  
3,402万円

朽木地域(麻生・地子原)において移動通信用鉄塔施設を整備し、携帯電話不感地域解消を図ります。

【財源】

県支出金	2,720万円
市債	650万円
分担金	25万円
一般財源	7万円

野生獣処理施設  
整備事業  
5,160万円

シカ等野生獣の死がいや適正に処理するため、環境センターに処理施設を整備します。

【財源】

市債	4,900万円
一般財源	260万円

老朽化施設解体  
撤去事業  
980万円

老朽化したマキノ老人憩いの家、鴨老人憩いの家について、地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、施設の解体を行います。

【財源】

国庫支出金	880万円
一般財源	100万円

漁業用施設解体  
事業  
820万円

老朽化が著しい安曇川町上古賀にある鮎蓄養施設について、地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、施設の解体を行います。

【財源】

国庫支出金	740万円
一般財源	80万円

資産や負債などの状況

借方 (資金の使途)	貸方 (資金の調達)
<b>資産の部</b>	<b>負債の部</b>
<b>有形固定資産</b> 市役所庁舎、保育園、道路、公園、市営住宅、図書館、体育館などの土地、建物を部門別に分類し、減価償却して累計したものです。 <b>1,242億7,150万円 (228万円)</b>	<b>固定負債</b> 市の借金である地方債の残高や、職員の退職金相当額などです。 <b>353億2,093万円 (65万円)</b>
<b>投資等</b> 出資金や市民への直接貸付金、福祉や学校建設基金といった特定目的のために積み立てられた基金(貯金)などです。 <b>79億3,882万円 (15万円)</b>	<b>流動負債</b> 来年度支払う借金の返済額と、前年度の収入不足により繰り上げて使った分です。 <b>37億9,665万円 (7万円)</b>
<b>流動資産</b> 短期間(1年以内)に換金できる預金や現金、税金の未収金などです。 <b>35億546万円 (6万円)</b>	<b>負債合計</b> <b>391億1,759万円 (72万円)</b> (これから負担する金額)
<b>資産合計</b> <b>1,357億6,579万円 (249万円)</b>	<b>正味資産の部</b> 土地の購入や道路、建物などを建設するために充てられた国や県の支出金、市税などを計上しています。 <b>正味資産合計</b> <b>966億4,819万円 (177万円)</b> (これまで負担した金額)
	<b>負債・純資産合計</b> <b>1,357億6,579万円 (249万円)</b>

(どれだけの財産があるかを表しています)  
※( )は、市民一人当たり換算した数値です。  
(平成21年3月31日現在の市人口54,459人)

の道路や学校、保育園あるいは公営住宅などの資産と、それを取得するために必要としたお金や負債がどれくらいあるのか知ることが出来ます。

市の資産や負債が明らかになることにより、高島市の単年度収支では見えてこない全体像が把握でき、補助金や借入金への依存状態が分かります。

後世代の負担をみる指標に世代間負担比率(負債合計/有形固定資産)がありますが、高島市は31・5%となっています。この割合が低いほど、将来世代の負担が少なくてすむことになりやすくなります。

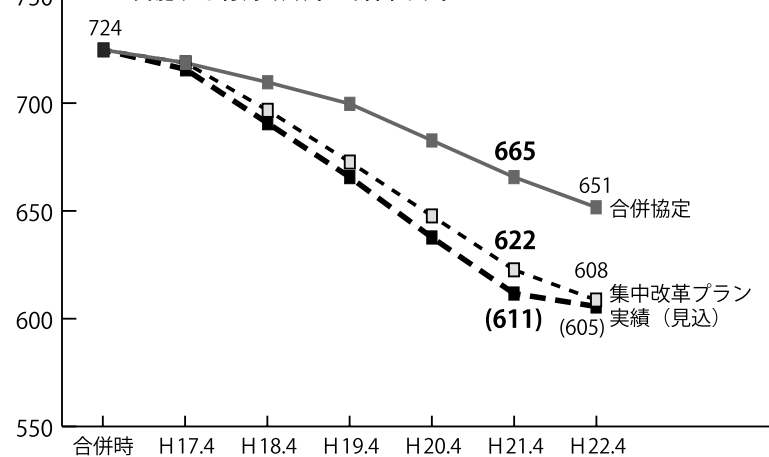
また、短期的支払能力をみる指標

に流動比率(流動資産/流動負債)がありますが、高島市は92・3%となっています。企業会計においては、この比率が高いほうが良く理想的には、200%くらい欲しいとされています。

有形固定資産に投下された資金がどの程度返済する義務を負わない資金により賄われているのかを見る指標に固定比率があります。高島市は128・6%となっています。企業会計では、100%以下が理想とされていますが、実際にはほとんどの企業が100%を超え、製造業では150%くらいが、平均値となっています。

職員削減計画の進捗状況

※職員数には消防、高島病院、陽光の里の職員を除いています。  
※集中改革プランとは平成21年度までに具体的な取組みを集中的に実施する行財政改革の計画です。



平成17年度から平成21年度の5年間で、人員純減目標を110人とし、平成21年4月現在で、純減目標の94%(純減104人)を達成していますが、引き続き厳しい財政状況と職員の大規模退職の中、職員一人ひとりの能力が十分に発揮できる職員配置を行ってまいります。

平成17年1月の合併当初と比べ100人を超える職員の削減を行いました。事務事業の見直しや施設見直しによって管理体制のスリム化をはかり、また、重点的に取り組む政策分野については人員の集中配置を行うことにより、限られたスタッフの能力が十分に発揮できる職員配置を行ってまいります。

高島市職員の定員・給与に関する状況

高島市では、「豊かな感性を持つて自ら考え行動する自立型職員」を目指すべく職員像とし、市民の皆さんの立場に立った心のこもったサービスの提供、柔軟かつ効率的・効果的な行政運営の実践により、市民の皆さんの「人材」から「人材」へと

なれるよう、職務に取り組んでいきます。

純減目標の94%達成  
職員数削減の進捗状況

平成17年1月の合併当初と比べ